

羅針盤

Voices for Tomorrow

第3回

株式会社ジャオダック

代表取締役社長 川崎 日郎氏

屋外広告の最適な媒体選定と管理実現

「日本屋外広告相場情報システム (JAODAQ)」の運用を行う㈱ジャオダック。同社は、媒体やコミュニケーションビジネスに必要な情報を統合して提供。屋外・交通広告市場に透明性と適合性を創り出すことで、より活発な取引を促進、さらなる発展への貢献を目指す。

代表取締役社長の川崎日郎氏に、新たに提供を開始したクラウド型プラットフォームの特徴など同社の事業展開とともに、屋外・交通広告市場の可能性について聞いた。

取り扱い媒体は約3万点

「メディアが生活者に届きにくい時代」との声を聞く。その中で、屋外・交通広告は「移動する生活者を捉えるメディア」として再評価されてきている。

JAODAQは、これらの広告について、ビッグデータ解析した基準価格をベースに売買・企画設計ができるクラウド上の取引市場として、2019年4月に発足した。スタートから6年を経た今日では、媒体社口座589社、代理店口座434社、取り扱い媒体数は約3万点(25年6月現在)までに成長している。

「一物一価」を実現していく

広告は顧客によって、目的・価値が異なる。JAODAQが追求するのは、屋外・交通広告の市場価値を創出し「一物一価」を実現していくこと。

システム開発にあたっては、数値

を合理的に測れるインターネット広告の良さに模範を求めつつも、複雑化は避ける。言語にしても、特殊なものは用いず、広告主から広告会社に至るまですべての人に分かりやすく、共感を得ることを目標に取り組んでいる。

アフターコロナ下での成長へ

今、屋外・交通広告市場はどのような環境下にあるのか。アフターコロナの領域には入ったものの、インターネット広告が活況を呈する一方で思ったよりは回復が遅れているように感じる。要因としては、コロナ禍で在宅勤務が増えたことなど、人々の働き方や生活様式の変化が影響しているようだ。

ならば、屋外・交通広告の成長を軌道に乗せるには何が必要か。JAODAQでは、ここに着目して事業を推進している。

クラウド型のプラットフォーム

今年10月からは、屋外・交通広告における業務を統合的に管理・運営できるクラウド型プラットフォーム「JAODAQ WORK SPACE」の提供を開始している。

この新サービスは、適正な価格を算出する「OOH-REPCO(屋外広告価値計算機)」と広告効果を見える化する評価指標「J-IMES(情報媒体評価基準)」の2つのメジャメントツールを活用することで、媒体ごとの視認性や影響度、費用対効果などを定

量的に比較できるのが特徴だ。広告主企業のマーケティング戦略と整合した最適な媒体選定・管理が実現することにより、リアルな空間においてもテレビや新聞と同様の指標での評価が可能になる。

加えて、媒体資産の棚卸を展開。既存情報媒体の資産価値と広告販売料金の算出・評価とともに、コンサルティングレポートの生成も行っている。

市場拡大を後押しするために

屋外・交通広告の市場規模は、コロナ禍以前で約5000億円とされていた。しかし、潜在需要としてはまだまだこんなものではないはずだ。国内においては世界でも有数の人口を抱え、インバウンド需要も好調に推移している。とにかく、まちには人が存在する。将来的には、1兆円市場を目指すだけのポテンシャルを持っていると思う。

JAODAQの提供するサービスも、屋外・交通広告の市場拡大を後押しできるよう引き続きブラッシュアップさせていきたい。システムをより効果的に活用していくために、広告主、広告代理店、媒体社とコンソーシアムのようなものを形成し、ともに協議できる場を設ける。そんなことも考えている。

株式会社ジャオダック
代表取締役社長：川崎 日郎 設立：2018年
所在地：東京都港区
事業内容：JAODAQシステムの開発・管理、関連システム・広告商品の開発、コンサルタントなど

特集Ⅰ

屋外広告物の防火対策 06

特集Ⅱ

2025年 業界の歩みと未来 団体代表者に聞く現場の声 18

新作施設

HOME/WORK VILLAGE 32 SHONIN PARK 52

表紙「アイデックスインターナショナル AI LEDシリーズ」解説 26-27ページ

AI LED

Lens Module



350°
Fluorescent Light



-40℃から80℃まで過酷な環境下でも抜群の耐久性

All-in-one LED Light



AIDEX

INTERNATIONAL

アイデックスインターナショナル株式会社

